

船輪

第133号
2013年春 発行

船輪は(公財)伏木富山港・海王丸財団の機関誌です

着任の挨拶

常務理事・事務局長
滝田 茂(たきだ しげる)



4月1日から、高島の後任として財団に勤務しております滝田です。3月まで勤務しておりました立山カルデラ砂防博物館は、立山黒部アルペンルートの玄関口である立山駅にあり、昨年は立山連峰で日本初の氷河を発見した研究チームの活躍がマスコミを賑わしました。山から海までコンパクトにまとまっている富山県ならではの「山から海へ」の異動となりましたが、県内でもトップを争う観光地に引き続き勤務でき、うれしく思っております。

海王丸とは少し縁がありました。大阪市と熾烈な誘致合戦を行っていた平成元年頃、私は誘致を担当していた部署におりまして、上司や同僚が智恵を出し、汗を流して奮闘していた姿を真近で見えておりました。県民の皆さんの熱い思いもあって、大阪市と交互に係留することが決まった時に拍手喝采を送ったことをなつかしく思い出します。とは言いながらも、海王丸に乗船したのは去る4月4日が初めてでした。帆船のシンボルである舵輪等を見学し、1万人を超える海の若人を育てた帆船の素晴らしさを実感しました。新湊大橋の開通、恋人の聖地の選定など今、海王丸にはフォローの風が吹いています。ボランティアの皆様や4月に設立を予定している友の会の皆様のご協力を得ながら、海王丸の保存・活用を図るとともに海王丸パークにより多くの方々に来ていただき、楽しんでいただだけよう努めてまいります。存じますので、どうぞよろしくお願いいたします。

事務局次長
上田 正樹(うえだ まさき)



この4月、富山県から派遣され公益財団法人伏木富山港・海王丸財団で勤務することになりました事務局次長の上田です。

前の職場である県土木部建築住宅課では、宅地建物取引業、住宅取得に係る県融資制度、住宅耐震化の普及啓発などに関する仕事をしていました。

私は魚津市に住んでおり、これまでJRで富山市内への通勤を30年以上続けてきました。今回初めての車通勤で、しかも片道1時間を超えることになったのですが、新湊大橋からの眺めや余り聞くことのなかったラジオ番組など、結構楽しんで運転しています。

ところで、魚津市と海王丸パークのある射水市の新湊地区は、同じ漁師町で富山湾を囲み対岸に位置することもあり、どこか同じ雰囲気を感じますが、今後は、この地域のことをもっといろいろ知って、違いを実感できるようにしたいと考えています。

世界の宝「帆船海王丸」を多くの人々に楽しんでもらうため、微力ながら頑張りますので、宜しくお願いいたします。

総務課 主任
川淵 康平(かわふち こうへい)



このたび4月より射水市から公益財団法人伏木富山港・海王丸財団に派遣されることになりました川淵です。

射水市に入庁してから初めての異動でかつ、未経験の仕事も多く、戸惑うことやあたふたになることも多々あり、皆様方にはご迷惑をおかけしておりますが、1日でも早く職場に慣れ、海王丸パークの発展に貢献できるよう全力投球で仕事に取り組んでいきたいと考えておりますので、皆様方のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

また、海王丸パークは県内有数の観光地であり、昨年9月には新湊大橋も開通し、今後その重要性は高まってくると思います。このような状況で自分が海王丸パークで仕事をするということについて、責任の重さをひしひしと感じておりますと同時に、一人でも多くの人に海王丸パークに来て・楽しんで帰っていただきたいという使命感のようなものも感じております。老若男女問わず多くの人々に愛される海王丸パークにしていけるように努めてまいります。よろしくお願いいたします。

いたします。



海事課 技術員
津波 誠(つば まこと)

4月1日付け海事課技術員として着任しました。津波誠です。生まれも育ちも沖縄ということもあり、雪国に住むのは初めてです。素晴らしい自然環境に恵まれた土地での仕事も遊びもよい経験ができるのではないかと期待しています。

これから展帆ボランティアの皆様と総帆を展帆して美しい姿を多くの人々に見ていただき、いつまでも美しく元気な海王丸を維持する為精一杯頑張りたいと思っています。まだまだ分からないことばかりで皆様にはご迷惑をお掛けしますが、ご指導のほどよろしくお願い致します。



海事課 技術員
中山 保昭(なかやま やすあき)

この度、海事課技術員として着任いたしました、中山保昭です。背景には新湊大橋と、頂が白く輝く立山連峰が広がる海王丸で仕事ができることに喜びを感じております。

富山県での生活は初めての経験となりますが、1日でも早く仕事に慣れていきたいと思っております。

よろしくお願い致します。

退任の挨拶

常務理事・事務局長
高島 良一



財団在職3年間、皆さんには大変お世話になり、ありがとうございました。

振り返れば、財団と県及び射水市との連携を緊密にすることに始まり、海王丸修繕の工法検討、県版事業仕分けへの対応、県内外企業へのアンケート調査や国際交流イベントなど賑わい創出事業の実施、パーク指定管理者更新のプレゼン、公益財団法人への移行手続き、海王丸上架修繕工事の予算化から発注、海王丸パーク・マスコットキャラクターの制作、新湊大橋開通記念行事、恋人の聖地プロジェクトへの参画、友の会の設立準備など、思う存分仕事をすることができたと思っております。

なかでも忘れてはならないのは、ボランティアの皆さんとの出会い、そして心の触れ合いです。様々な機会を通じて貴重なご意見等を頂戴し、大変参考になりました。今年は、念願の海王丸大修繕も完了し、総帆展帆も200回達成という記念すべき年となります。これからも末長く愛され、海の貴婦人と称される優美な姿を多くの人々に披露するため、皆さんの更なるご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

最後に、皆さん方の益々のご健勝とご多幸を祈念し御礼の言葉とさせていただきます。



事務局次長
小栗 照一

平成21年4月に着任して以来4年間、皆様には大変お世話になりました。

お陰をもちまして、少しは財団のお役にたつことができたのではないかと感じております。どうもありがとうございました。

15年ぶりとなるドックに入っただの大規模修繕も終え、帆船海王丸の一般公開が3月20日から再開されました。再び多くの来場者で賑わっております。本当にうれしく思っております。これからも立山連峰、新湊大橋を背景に「海の貴婦人」と称される優美な姿を披露して多くの方に感動を与えてくれることでしょう。

今年は200回目の総帆展帆を迎えますが、是非、雪をいただく立山連峰、新湊大橋、帆船海王丸の総帆展帆が、ひとつになった素晴らしい景色が写真に納まりますようお願いしております。

最後になりましたが、皆様のご健勝を心からお祈りいたします。あいさついたします。



総務課 主任
吉住 逸雄

この3月で財団での勤務を終え、射水市役所に戻ることとなりました。

財団勤務の2年間は今まで経験の無い仕事が多く、関係する皆さまのご協力をいただきながら、無我夢中でこなしてきた毎日でした。特に、2年目の平成24年度は新湊大橋の開通や海王丸のドック入りに伴い、たくさんの貴重な経験をさせていただきました。この経験は一生の宝であり、子や孫に語り継いでいきたいと思っております。

海王丸のドック入り期間中、初めて海王丸のいない海王丸パークを見て、改めて私たちの故郷、富山県射水市にとって、海王丸はなくてはならない大きな存在であると感じました。これからも、家族と一緒に海王丸パークを訪れたいと思いますので、今後ともよろしくお願い致します。簡単はございますが、退任のあいさつとさせていただきます。ありがとうございました。



海事課 技術員
月野木 浩司

7年振りの富山勤務で最初に感じたのは「都会になったなあ」でした。

3年間の在職中には新湊大橋も完成し、北陸新幹線も完成に近づき、壮大な風景に新たな風景が日に日に加わり、以前と違う富山を垣間見る事ができました。

乗船中は色々な土地に行けるのも魅力ですが、その土地で腰を据えてじっくりと春夏秋冬と四季を感じながら過ごした時間は大変有意義でした。本船の大修理も終わり、3年間無事に任期を終える事が出来ホッとしています。次は新幹線に乗って富山を訪れる日が来る事を楽しみにしています。それでは、
「ごー きげん よ—————！」



海事課 技術員 池田 州

この度、海王丸財団を退職する池田 州です。

2年間にわたり、ご指導、お世話になり有難うございます。

公私とも、事故なく元気なままで過ごせた事は、ひとえに富山県で出会った方々のお陰と、思っております。

また富山からの景観、食べ物、そしてお酒も、満喫しました。この後、航海訓練所に復帰しますが、富山入港の折には宜しくお願いします。

最後に、海王丸とボランティアの皆さま、末長いご繁栄を願っています。



にぎわい推進員 関山 香

この度任期を終え財団を退職することになりました。

にぎわい推進員として赴任しましたが、仕事の内容は初めてのことばかりで、分からないことが多く大変苦労しました。その度に、周りの皆さんにはご迷惑をおかけしました。しかし、どんな時でも優しく一つひとつ丁寧に教えて頂き、やり遂げることができました。皆さんに大変感謝しております。

国際交流フェスタの開催、マスコットキャラクター「カージくん」の誕生、そして「恋人の聖地」認定などのすばらしい事業に関わることができたことは、私にとって大きな自信となりました。

さらに、総帆展帆に参加するという、一生の思い出になるすばらしい体験ができました。

わずか1年間という期間でしたが、私にとっては貴重な1年間となりました。この場を借りてお礼申し上げます。機会があれば、いつかまた総帆展帆に参加させて頂きたいと思っております。

海王丸 海王丸パークへ

3月7日(木)、3カ月に及ぶドックでの大規模修繕工事が終了し、海王丸は海王丸パークへ戻ってきました。

当日は平日にもかかわらず、多くの市民やボランティアに迎えられた海王丸は、午後2時頃、無事に元の係留場所まで戻りました。

想像以上に痛みの激しかった海王丸でしたが、安心

して100歳を迎えるべく、多くの方々の手によって工事が進められました。写真のように、貝殻だらけだった船体も綺麗にお色直ししました。

海王丸パークに戻ってからは、船内の清掃や海王丸を係留する鎖の復旧などが行われ、3月20日(水・祝)から一般公開を再開しました。



海王丸パークが「恋人の聖地」に認定

プロポーズにふさわしいロマンティックなスポットとして注目を集めている「恋人の聖地」に、海王丸パークが認定されました。全国で116カ所目、富山県内では3カ所目の認定となりました。そして、発表されたのが2月14日のバレンタインデー。海王丸の進水記念日でもあり、華々しいスタートを切りました。これからは、船上にある「幸せの鐘 愛のタイムベル」の音色が、多くのカップルの手によって海王丸パークに優しく響き渡ることでしょう。



第1回海王丸ボランティア活動活性化会議

3月16日(土)、第1回海王丸ボランティア活動活性化会議を開催しました。1月に開催された意見交換会を踏まえ、ボランティアの活動がより活性化されることを目的とする提案書が、ボランティアの代表者から示されました。その提案を財団と確認・協議し、今後実行されていくことになりました。

提案書の内容は以下の通りです。(紙面の都合上、一部抜粋しております。)

1. 新規ボランティアの獲得

- ①大型ショッピングセンターなどのイベントブースを活用したボランティアへの勧誘活動
- ②ボランティアと縁のある企業への訪問

2. ボランティア同士のコミュニケーション活性化

- ①統一書式による帽子等への氏名及び登録年度の記載
- ②「サークル活動」の活性化及び支援
- ③機関誌「舵輪」へのボランティアの声の掲載

3. ボランティアの「誇り」の高揚

- ①各メディアへの積極的な紹介
- ②グッズのデザイン更新

4. ボランティアへの技術指導

- ①海事課による技術指導の充実
- ②船内案内講習の実施
- ③ベテランのボランティアによる新規ボランティアへのフォロー

5. 甲板ボランティアの拡大

- ①訪船したくなる雰囲気作り
- ②廃材（ロープ、帆など）を利用したリサイクルグッズの作製・配布

6. 海王丸パークへの集客

- ①満船飾実施日の増加
- ②海王丸パークでのイベント増加

これらの提案を基に、海王丸ボランティアの活動を活性化していきたいと思えます。

また、今後も定期的にボランティア代表者と財団による会議を実施し、情報交換をしていくことになりました。ボランティアの活動について、良いご提案がありましたら、各マストのボランティア代表者又は二等航海士までお気軽にお知らせ下さい。

1・2・3月の行事結果

第2回ドック見学会

2月17日（日）、第2回目となるドック見学会が開催されました。

心配された天気もなんとか持ちこたえ、大勢の方々にお越しいただきました。修繕前と修繕後の写真をご覧いただいた後、実際にドックに行ってみると、海王丸ではちょうど船体に仕上げの塗装が行われており、修繕工事の実際の様子を見ることができました。



餅つき大会

3月20日（水・祝）、餅つき大会が海王丸前で開催されました。例年、年末に開催していたものですが、今年度は海王丸の大規模修繕工事終了と一般公開再開を祝うため、この日の開催となりました。終始和やかな雰囲気の下、つきたてのお餅と豚汁を頬張り、今年の英気を養いました。当日は、海王丸も満船飾とミニ展帆でお祝いに華を添えました。

非公開区域の特別公開

3月23・24日（土・日）、通常は公開されていない区域を、職員が説明を加えながら見学する特別公開が実施されました。セイルの作成作業や、150馬力の発電機の動く姿などを見学しました。普段は見ることが出来ない船内の様子に、参加者からは驚きの声が多く聞かれました。

今後の行事予定

6～7月の行事予定

6月1日（土）	獅子舞演舞会 ミニ展帆
6月23日（日）	総帆展帆④・登しょう礼練習
7月7日（日）	登しょう礼練習（13時～）
7月13日 ～15日 （土～月）	海王丸パークフェスティバル 13日：カッター・セイリング教室 14日：ミニ展帆 15日：総帆展帆⑤ 登しょう礼
7月28日（日）	総帆展帆⑥ 花火大会（夜間公開）

※都合により、日時の変更又は中止となる場合があります。

登しょう礼

「海の日」を記念し、7月15日（月・祝）に登しょう礼を実施します。練習については以下の通り実施します。ご都合の悪い方は、海事課までご連絡下さい。

- ・5月19日（日）練習①を実施しました
 - ・6月23日（日）総帆展帆屋休み 練習②
 - ・7月7日（日）13時～ 練習③
- 練習①、②はいずれか1回は参加してください。
配置希望調査も行います。
練習③では、希望のマスト配置で本番同様の練習を行います。

あとがき

大規模修繕工事や「恋人の聖地」認定など、注目を集めている海王丸パークは例年以上のにぎわいを見せています。特にカップルが増え、デートスポットにもなったようです。私もこの雰囲気には是非あやかりたいものです・・・（す）

舵輪 第133号

発行日 2013年 5月

E-mail

by-the-wind@

kaiwomaru.jp

公益財団法人 伏木富山港・海王丸財団

〒934-0023 富山県射水市海王町8番地

TEL 0766-82-5181

FAX 0766-82-5197

URL <http://www.kaiwomaru.jp>